

## 内方線付き点状ブロックについて

点字ブロックは、平行した線が突起になっていて、移動の方向を示す「誘導ブロック（線状ブロック）」と、格子状の点が突起となっている「警告ブロック（点状ブロック）」の2種類で構成され、進路が交差したり、曲がったり、行き止ったりする箇所に、点状ブロックが敷き詰められています。

秋田駅のホームにおいても、従来は点状ブロックを設置していましたが、視覚障がい者が、ひとたび方向を見失った場合に、ホームの内側と外側を区別できないため、内側に退避するつもりで移動し、誤って線路内に転落してしまうという危険性がありました。

そこで、点状ブロックの内側に、安全側を示す1本線が追加された内方線付き点状ブロックに交換しています。

